

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	福祉総務課長	大澤 一則	
健福-04	実施事業	福祉センター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	福祉総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。
効果	利用者の利便性向上のため、施設の適切な管理を行う。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<p>・福祉センターの効率的な管理運営を行った。</p>

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等の	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,925世帯	人口	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	63,770	33,556	当初予算(千円)	47,797			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債	22,100		地方債				
	その他	3,393	3,676	その他				
	一般財源	38,277	29,880	一般財源				
	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.7			
事業経費運営	人件費(千円)	3,871	3,838	人件費(千円)	5,394			
	総事業費(千円)	67,641	37,394	総事業費(千円)	53,191			
	市民1人当りの経費(円)	382	211	市民1人当りの経費(円)	301			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	適切な総合管理委託業務及び、施設老朽化に伴う必要な維持修繕を行うため、事業内容及び予算規模は現状維持とする。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	福祉センターの施設の保守管理料等維持管理費について、段階的に受益者負担を導入し、平成28年度で100%負担とした。 今後も施設の利用状況に合わせ、計画的に施設内の整備等修繕を行うとともに、施設の適切な管理を行う。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性や維持管理上の重要性などから判断し、利用者に支障のないよう修繕を行う必要がある。 ・福祉センター内で事業を行っている社会福祉法人の目的外使用料について一部を徴取しているが、全額を徴取することについて検討する必要がある。 	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に修繕を行ったが、今後も引続き、緊急性や維持管理上の重要性などから判断し、利用者に支障のないよう修繕を行う必要がある。 ・福祉センター内で事業を行っているデイサービス事業者に維持管理等について実費負担分を全額を徴取することとした。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性や維持管理上の重要性などから判断し、施設や備品の更新修繕について計画的に行う必要がある。 ・利用方法の見直しをする。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											